

第6分科会 Aグループ

2009.11.13

於:私立大学情報教育協会
大学職員情報化研究講習会

メンバー紹介

- 北は北海道、南は広島
- 規模は、ばらばら(学生数※院生含む)
 - － 北海商科大学(一条昌弘) 600人
 - － 松本歯科大学(音琴淳一) 700人
 - － 早稲田大学(上野雅之) 50,000人
 - － 佛教大学(西誠) 6,800人
 - － 大阪商業大学(松本智史) 5,000人
 - － 広島文教女子大学(山本尚美) 1,200人
- 共通の課題は？

討議したテーマ

- テーマ:離脱者をどう防ぐか!
 - － 各大学で共通の課題である
- 離脱してしまう学生の状況・状態
 1. 授業についていけない
 2. 自ら学びに入れない
 3. 相談できない
 4. 友達をつくれぬ
 - － 前提:やりたくない意志のある学生ではなく、やろうとしているができない学生が対象
- そのための、有効なコミュニケーションツールとは？

1.授業についていけない

- ① 授業外の場合(補講)を設ける
 - ・ コミュニティ
 - ・ 招待制(強制参加)※小テストによって判断
 - ・ 授業評価を初期時に行い、教員に通知し改善してもらう
- ② 予習・復習用の教材配信
 - ・ 用語集⇒WEBページ、e-learningへのリンク
 - ・ 授業内容⇒WEBページ、LMS※著作権には配慮が必要
 - ・ 学生に先生へのコンタクトを促がす
- M③ 授業・試験情報の配信
 - ・ 選択時、試験時など、
 - ・ 学生自分で登録
 - ・ ポータル⇒ログイン⇒マイページに掲出
- M④ ○○先生、○○科目のコミュニティ
 - ・ 学生が自主的に参加

2.自ら学びに入れない

- M** ① 啓蒙活動
- 卒業生に体験談を展開してもらう(〇〇しておけばよかった、××が役立った)
 - リアルなイベント+日記(ブログ)を掲出
 - 理想は双方向
- ② 学習のやり方、効率的な方法を指導
- 添削してもらう(LMSなどの添削システム)、院生・教職員
- ③ 教える立場を経験してもらう⇒小、中学生向けの教材を作る(LMS)
- 指導はゼミの研究生、院生
 - 気付きを与える
- ④ 成績の可視化(点数、単位)分析、グラフ
- インセンティブ・プログラムが必要、励ましは必須
 - ポータル⇒ログイン⇒マイページ/LMS⇒ポートフォリオ

3.相談できない

- ① 担任制
- 担任が学生の状況を全部閲覧できる(LMS)
 - 科目単位だけでなく、クラス単位のコミュニケーションができる
- M** ② 教員・職員・先輩の距離を縮める
- ポータル、マイページから学生が選べる
 - SNS, 教職員・先輩が日記(ブログ)で情報を配信
 - 相談用メルアド/専用サイト
 - 無記名のしくみ
- M** ③ 相談窓口の設置
- いつでも受付、必ず返答
 - 相談員を紹介するアイデアが重要
- M** ④ ヴァーチャル・ティー・アワー
- オン・オフ会
- ➔ いつも待っている、受け入れる姿勢をあらわすこと

4.友達をつくれな

- M** ① 趣味、興味、エリア、サークルなど、きっかけを作ってあげる
- 職員のバックアップが重要
- ② 合宿・オリエンテーション
- 顔が見える安心感
 - 簡単な試験をオリエン時に実施して教員に知らせておく
- ➔ サポートしているしくみの数々をアピールする広報活動

まとめ

- 学生に優しいシステム(学生が主体)
 - 学生個々の多様な状況を勘案し、求める情報が網羅されている
- 教職員への働きかけが必要